

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [人件費補助事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	15	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進								総合計画書 (ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	東大和市社会福祉協議会 →				社会福祉協議会職員人件費5名分(年)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
人件費を補助することで、経営の安定化をはかる。 →				職員5名分の人件費を市が補助として交付し、負担する。								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
職員5名分の人件費について補助した。 →				5名分人件費：円								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	名	5	5	5						
	成果指標	②の数値	円	40,054,413	40,006,590	40,066,197						
	目標	②の目標値	%	100	100	100						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 人件費補助を適正に交付する。												
		活動指標	③の数値	円	40,054,413	40,006,590	40,066,197					
3 経費	事業費(実績)		円	40,054,413	40,006,590	40,066,197	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	36,654,413	36,606,590	36,666,197						
		特定財源(国・都・他)	円	3,400,000	3,400,000	3,400,000						
			(うち受益者負担)	円	0	0						0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1						0.1
		所要人数(再任用)		人								
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000						
		職員人件費(再任用)	円									
		事業費+人件費	円	40,885,413	40,844,590	40,891,197						
4 環境変化等	(1) 開始年度		年度									
	(2) 環境の変化 事務局長人件費について、市の再任用職とほぼ同水準とした。											

事業名称	東大和市社会福祉協議会運営・補助事業費 [人件費補助事業]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
特になし					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)				
	特になし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
特になし					
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)					
社会福祉協議会職員給与(事務局長・次長除く)は市の給与表と同じものを採用していることから、毎年度昇給に伴う、増額分が恒常的に生じるため、これに対応する経常経費の支出確保が課題である。					
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
施策名： 地域福祉の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 社会福祉協議会と恒常的に連絡会を開催し、必要な情報交換を行なっている。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
社会福祉協議会との綿密な連絡体制の構築。					